

施策名：地域生活交通システムの形成

事業名	担当課・室名	ページ
生活交通路線支援事業	観光・地域局交通政策課	2 / 5
離島航路対策費	観光・地域局交通政策課	3 / 5
地方バス路線推進対策費	観光・地域局交通政策課	4 / 5
道路改良事業	道路保全課	5 / 5

事業名	生活交通路線支援事業		事業期間	平成 21 年度～平成 年度		政策区分	交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進
				施策区分	地域生活交通システムの形成		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課 (室) 名	観光・地域局	交通政策課	評価者	交通政策課長 土田 宏道

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	利用者の減少に伴って、バス事業者による公共交通の維持が難しくなっており、高齢者や運転免許を持たない県民が日常生活を送るうえで必要な交通手段としての公共交通路線の維持が求められている。	事業の目的	市町村が支援する民間バス路線、市町村が自ら運行するコミュニティバス等を対象に運行費補助を行い、地域住民の生活交通を確保する。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
生活交通路線維持費補助	市町村が運行するコミュニティバス等運行補助 (12市町185系統) 市町村が運行支援する民間路線バス (10市町92系統)	・市町村を対象に収支の改善に向けた取り組みを支援する研修会を開催 ・運輸支局と一緒に市町村へ出向き、相談や助言を行う意見交換会を個別に開催	総コスト	106,424	103,468	92,249
			事業費	101,424	98,468	87,249
			(うち一般財源)	101,424	98,468	87,249
			人件費	5,000	5,000	5,000
			職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	地域公共交通の確保・維持に係る意見交換及び協議(回)	目標値	12	12	12		a	<ul style="list-style-type: none"> 過疎化、少子高齢化、人口減少の進行によるバス利用者の減少 バス利用者の減少などによるバス事業者の経営悪化 バス事業者の経営悪化による廃止・減便などの利便性の低下 利便性の低下から更なる利用者の減少を招くという悪循環の解消 	
		実績値	14	15					
		達成率	116.7%	125.0%					
		目標値							
		実績値							
		達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	補助対象民間バス及びコミュニティバス路線数(系統)	目標値	301	277	244		a	コミュニティバス等の運行に係る経費を市町村に助成することで、地域の状況に応じた生活に欠かせない移動手段である公共交通を確保することができた。	
		実績値	301	277					
		達成率	100.0%	100.0%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・国の地域公共交通確保維持改善事業の地域内フィーダー系統(枝線)確保維持事業の対象となり得る系統については、同事業の積極的活用を指導
- ・利用者拡大を目指し、利用者ニーズに合ったルートやダイヤの見直しへ誘導
- ・利用者の少ない系統については、より効率的運行が可能なデマンド運行への移動誘導

事業名	離島航路対策費		事業期間	昭和 4 8 年度～平成 年度		政策区分	交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進
				施策区分	地域生活交通システムの形成		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課 (室) 名	観光・地域局	交通政策課	評価者	交通政策課長 土田 宏道

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	離島航路では、離島の急速な過疎化や少子・高齢化による人口減少に伴って航路利用者が減少しており、その一方で、島民減少を補うほどの交流人口の増加は望めない状況にある。このため、毎期大きな欠損額を計上している各航路の運営は容易には改善せず、航路事業者は苦しい経営を強いられている。	事業の目的	離島地域の振興及び離島住民の生活の安定と向上に資するとともに、離島航路事業の維持改善を図る。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	2 5 年度	2 6 年度	2 7 (予算)
離島航路事業費補助	国と県による合同監査後の査定後純欠損額から国庫補助金を差し引いた額の3/4を補助 (残り1/4は市町村が補助) ・姫島～国見航路 (姫島村) ・津久見～保戸島航路 (津久見市) ・大島～佐伯航路 (佐伯市) ・蒲江～深島航路 (佐伯市)	・観光客等の増加を図るため、ホームページ等で島のPRを実施 ・船舶の日常点検に努め大規模修繕の発生を押さえるよう要請 ・省エネ化の船舶導入 ・夏季等の不定期便の運航	総コスト	61,942	66,687	79,871
			事業費	59,942	64,687	77,871
			(うち一般財源)	59,942	64,687	77,871
			人件費	2,000	2,000	2,000
			職員数 (人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名 (単位)	達成度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
協議会・打合せ等の開催回数 (航路)		目標値	8	8	8		a	<ul style="list-style-type: none"> 今後も航路利用者の減少が予想されるため、観光関係部署と連携イベント等の情報発信をして、観光客や釣り客の誘致を図り、収益の減少を抑制 船齢の高い船舶は、日常点検や定期点検等を適切に行い、突発的な修繕が発生しないように努め、他の経費についても更なる経費節減を促進 航路維持体制の確立に向けて、公設民営化の受け皿づくりの検討 	
		実績値	8	8					
		達成率	100.0%	100.0%					
		目標値							
		実績値							
		達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
補助航路数 (航路)		目標値	4	4	4		a	「航路運営協議会」で、航路改善策を検討するとともに、各改善策の実施状況を確認のうえ指導した。	
		実績値	4	4					
		達成率	100.0%	100.0%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針				
・県及び市町村の負担を極力抑えるために、航路事業者に対する収益増、費用減の指導を実施				

事業名	地方バス路線維持対策事業費		事業期間	昭和 4 7 年度～平成 年度		政策区分	交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進
				施策区分	地域生活交通システムの形成		
総合評価	B	継続・見直し	事業実施課 (室) 名	観光・地域局	交通政策課	評価者	交通政策課長 土田 宏道

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	利用者の減少に伴って、バス事業者による公共交通の維持が難しくなってきたり、高齢者や運転免許を持たない県民が日常生活を送るうえで必要な交通手段としての公共交通路線の維持が求められている。	事業の目的	過疎化と少子高齢化社会・人口減少社会の到来により、路線バスの利用者数の減少が進んでいることから、広域的・幹線的なバス路線（地域間幹線系統）を対象として、系統ごとの経常費用と経常収益の差額及び車両購入に係る減価償却費等について、バス会社に対して補助し、バス路線の維持・確保を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	2 5 年度	2 6 年度	2 7 (予算)
生活交通路線維持費補助	補助対象系統ごとに運行欠損額に対して補助 (5乗合バス事業者 17系統)	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸支局と一緒に市町村へ出向き、H 2 3～H 2 4 年度に実施した補助対象路線の運行実態調査結果も参考にしながら、市町村やバス事業者と利便性向上や利用拡大に向けた協議を実施 ・生活交通路線車両購入減価償却費等補助については、引き続きバリアフリー法適合のうちノンステップバス車両を対象 	総コスト	111,660	107,503	110,727
生活交通路線車両購入減価償却費等補助	車両購入に係る減価償却費に対して補助 (3乗合バス事業者 新規2台、継続5台)		事業費	106,660	102,503	105,727
生活交通路線合理化促進補助	事業者の経常費用が標準経常費用を下回っている場合かつ事業者の経営が前年度より改善している場合に補助		(うち一般財源)	106,660	102,503	105,727
			人件費	5,000	5,000	5,000
			職員数 (人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名 (単位)	達成度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
	地域公共交通の確保・維持に係る意見交換及び協議 (回)	目標値	12	12	12		a	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化、少子高齢化、人口減少の進行によるバス利用者の減少 ・バス利用者の減少などによるバス事業者の経営悪化 ・バス事業者の経営悪化による廃止・減便などの利便性の低下 ・利便性の低下から更なる利用者の減少を招くという悪循環の解消 	
		実績値	14	15					
		達成率	116.7%	125.0%					
		目標値							
		実績値							
		達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	2 5 年度	2 6 年度	2 7 年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	補助対象幹線バス路線数 (系統)	目標値	19	19	19		b	幹線バス路線の運行に係る経費を事業者に助成することで、地域をまたぐ広域的な移動手段である公共交通を概ね確保することができた。 うち2系統については、過疎化、少子高齢化の進行によるバス利用者の減少により、補助要件である1日あたりの輸送量を満たさなかった。	
		実績値	19	17					
		達成率	100.0%	89.5%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・ H 2 3～H 2 4 年度にかけて実施した調査事業の結果等を参考に、バス事業者や市町村とともに利便性向上や利用拡大を実施
- ・ 生活交通路線車両購入減価償却費等補助の対象車両については、引き続きバリアフリー法適合ノンステップバス車両を優先し導入

事業名	道路改良事業	事業期間	平成 年度～平成 年度		政策区分	交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進
					施策区分	地域生活交通システムの形成
		事業実施課(室)名	道路保全課		評価者	道路保全課長 菖蒲 明久

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	幹線道路網を構成する国道・県道において、多様化する県民要望に応え、地域振興や小規模集落対策等の実情に応じた様々な施策を支援するために、「おおいたの道構想21(大分県中長期道路整備計画)」を基本計画として、体系的な道路整備を進める。	事業の目的	幹線道路網を構成する国道・県道において、「おおいたの道構想21(大分県中長期道路整備計画)」を基本計画として、体系的な道路整備を進める。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
(単) 道路改良事業 (単) 橋梁整備事業	一般県道佐賀関循環線ほか 全158箇所 一般県道下恵良九重線宇土橋ほか 全4橋	・選択と集中による事業効果の早期発現	総コスト	4,737,522	4,200,765	5,580,046
			事業費	4,737,522	4,200,765	5,580,046
			(うち一般財源)	465,111	443,106	594,330
			(うち繰越額)	1,905,284	1,342,519	1,381,466
			人件費			
			職員数(人)			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
		目標値						「おおいたの道構想21」の具体的プログラムである「大分県版ちやく2プロジェクト(豊ちやく)」の達成に努めた結果、一般県道夷堅来線(堅来工区)が完成し、供用開始するなど、県内の道路整備は着実に進んでおり、今後も引き続き「選択と集中による事業効果の早期発現」を目標に道路整備を推進していく。成果については下記の表のとおり。
		実績値						
		達成率						

[路線別事業の実施状況]

主要地方道	H26年度は37路線において事業実施し、未改良区間の改良を基本に整備を図っている。
一般県道	H26年度は100路線において事業実施し、整備に当たっては未改良区間及び交通危険箇所を積極的に改良し、市町村間及び生活圏の道路整備を図っている。

平成26年4月1日現在道路状況

道路種別	実延長(km)	改良		舗装		橋梁		トンネル	
		改良済延長(km)	改良率(%)	舗装済延長(km)	舗装率(%)	箇所数	延長(km)	箇所数	延長(km)
一般国道	1,067.6	1,040.7	97.5	1,067.0	99.9	954	49.8	137	41.6
指定区間	359.6	359.6	100.0	359.6	100.0	356	19.9	39	9.1
指定区間外	708.0	681.1	96.2	707.4	99.9	598	29.9	98	32.5
県道	2,536.1	2,042.8	80.5	2,504.7	98.8	1,696	48.3	148	32.3
主要地方道	1,004.5	849.9	84.6	992.9	98.8	743	22.5	68	15.9
一般県道	1,531.6	1,192.9	77.9	1,511.8	98.7	953	25.8	80	16.4
合 計	3,603.7	3,083.5	85.6	3,571.7	99.1	2,650	98.1	285	73.9